

請 願 文 書 表

9月定例羽生市議会

受理番号	受理年月日	件 名	要 旨	提出者	委員会
請 願 第1号	R4.8.18	国に対して75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止の意見書提出を求める請願	<p>2021年6月、国会で75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決され、2022年10月から実施が予定されている。これが実施されると、75歳以上の高齢者で単身者の場合、年収200万円以上の人（約370万人）の医療費窓口負担が2割となる。</p> <p>この間の国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること、②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中での高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、③2割負担増の対象者を国会の審議を経ずに政令によって広げることができること等、数多くの問題点が明らかになった。</p> <p>また、医療費2割化の対象となる高齢者370万人の負担増の総額が平年ベースで1,900億円、高齢者1人当たりの負担増は年間約5万2,000円にもなる。現在の急激な物価高騰が続き、しかも高齢者の生活を支える年金が引き下げられたことから、これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることになる。後期高齢者の医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといのち、健康を守る上で大きな影響を及ぼすため、75歳以上の医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書を国へ提出願いたく請願する。</p>	<p>行田市若小玉 1536</p> <p>行田・羽生地域社会 保障をよくする会</p> <p>会長 山田 美佐夫</p>	<p>都市民生 委員会</p>